

令和4年度

第2回芽室町図書館協議会議事録

と き 令和4年11月25日(金)

16:00～16:50

ところ 芽室町図書館視聴覚室

芽室町教育委員会生涯学習課図書館係

○会議次第

- 1 開会
- 2 生涯学習課長あいさつ
- 3 議案
(1) 第4期芽室町子どもの読書活動推進計画策定について
(2) 芽室町図書館運営指針について
(3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○出席委員（敬称略）

椿原 雅章 森 エリ子 山下 正 栗栖 尚子 田中 美佐枝

○欠席委員

阿部 立 俵 英生 鈴木 厚美

○傍聴人 なし

○事務局

図書館館長 藤澤 英樹

図書館係 白取 詩絵里

午後4時00分 開会

- 1 開会
- 2 生涯学習課長あいさつ 課長欠席のためなし
- 3 議案

● (1) 第4期芽室町子どもの読書活動推進計画策定について

【委員長】議案(1)第4期芽室町子どもの読書活動推進計画策定について事務局より説明をお願いします。

【図書館長】-資料に基づき説明-

【委員長】この件について御意見、御質問はありますか。

【森委員】2ページ目最下段の「翌日に開催される赤ちゃん向けおはなし会」とは生まれた翌日のことか。

【図書館長】ブックスタートの翌日である。

【森委員】説明ではブックスタートではコロナ対策のため文書のみで行っているとのことだったが、翌日のおはなし会は行っているのか。

【図書館長】ブックスタートは接触を最小限にして取り組んでおり、おはなし会は衝立や換気等の感染対策をとりながら行っている。

【椿原委員】SDGsについて、今までにないような形の企画、イベントが今後下りてくるのであれば、学校としてはなるべく取り組みたいが、年明け2月頃に次年度のカレンダーを確定するので、早めに話があると検討しやすい。

【図書館長】生涯学習に限らず教育推進も含まれる話かと思うが、スケジューリングに関しては配慮していきたい。

【田中委員】5ページ目、「読書活動の推進」の具体的な取組の「父親の読み聞かせの啓発や読書活動の機会づくりに努める」について、「父親の」とあえて書くのは今の時代にそぐわない表現ではないか。「保護者の」というような大きな言葉に置き換えた方が時代に合っているのではないか。

【椿原委員】ジェンダーの関係は芽室町でも条例等を作っていたはずなのでこの部分は抵触しかねないと思う。

【図書館長】文言を整理して齟齬のないような形にしたい。

【委員長】6ページ目(4)図書館における子どもの読書活動の推進の具体的な取組の下から2つ目「子どもたちに図書館の利用方法について、図書館見学などを通じ学校と協力して図書館教育の推進に努めます。」という文章がしっくりこない。利用方法というのは具体的にどういうことか。

【図書館長】学校、とくに小学校が多いのだが図書館見学、あるいは中学校だと職業体験、高校だとインターンシップ等があり、そういった普段行っている行事を通して図書館を知ってもらうことに役立てるという意味で記載している。

【田中委員】表現の話で、「ついて」がかかっている先がないのではないか。

【委員長】「図書館見学を通じ、学校と協力して子どもたちに図書館の利用方法について学ばせて、そしてそのことによって図書館教育の推進を進めていきます」というような表現がよいのではないか。

【図書館長】検討し修正する。

【委員長】この件について他に何かありますか。

～ なし ～

● (2) 芽室町図書館運営指針について

【委員長】議案(2)芽室町図書館運営指針について事務局より説明をお願いします。

【図書館長】-資料に基づき説明-

【委員長】この件について御意見、御質問はありますか。

【委員長】3ページ目、「5. 利用者に応じた図書館サービス」について、(1)～(9)に小見出しがあると分かりやすいのではないか。

【図書館長】修正する。類似するようなものは見出しをまとめるなどしたい。

【委員長】7ページ目、「7. ボランティア参加の促進」について「利用者の皆さん」という部分は、他では「利用者」という表現なので統一した方がよいのではないか。

【図書館長】表現を統一する。

【椿原委員】4ページ目、(4)3行目について、育児の考え方や子育てのあり方に

については非常に多彩というかその家庭ごとにあるので、「これまでの育児概念が必ずしも良いとは言えない状況」という表現は「多様化」などにした方がよいのではないかと。また、6ページ目の「パスファインダー」や「レファレンスサービス」などの専門用語については注釈があるとよいのではないかと。先ほどの小見出しの話と同じように、町民に向けて出す以上は出来る限り分かりやすくする配慮があること、それがSDGsそのものなのではないかと思うので検討いただきたい。

【図書館長】わかりました。

【椿原委員】先ほどの読書活動推進計画についてだが、何か所かあるが例えば7ページの「学校図書館整備」について、公営公設の図書館と学校図書館は同じ「図書館」という名称では統一されているが性格が違うものである。GIGAスクールが推進されていくのは芽室町に限らず全国的な流れになっていて、芽室町でも小中学生に1人1台ずつタブレット端末が配布されているのは大変素晴らしいことである。しかし社会教育である図書館と学校教育であるGIGAスクール構想のなめらかで上手な接点という部分をよくよく見極めないと、教育行政執行方針との齟齬が生まれてしまうのではないかと。

学校のGIGAスクール構想の中でいわゆるデジタル教科書というものが入ってきて、令和6年度からは完全実施となるなかで、電子図書館との連携というところまではいつてくると、おそらく今配布されているデジタル端末ではパフォーマンス的に対応できないと思う。計画に書き入れる必要はないが、学校現場としては心配である。

【図書館長】不勉強であるが、デジタル教科書は今のマシンのスペックだと厳しいものであるのか。

【椿原委員】マシンのパワーとダウンロードするときのWi-Fiの容量などでスイスイサクサク動かなくなっていく可能性がある。実際に運用していくのは学校なので、機械の性能や通信環境の容量が原因となって授業に支障があるのであれば現実問題取り組み切れない。学校との連携の中では、実態を知っていただいた上で配慮していただきたい。

【図書館長】現在電子図書館を視野に入れており、児童生徒全員に使っていただくというという発想も、計画の中では教育推進課とすり合わせしながら取り進めているところである。そうするとスペック的なものも、さらに圧迫するようなこともあるかもしれないので、委員のおっしゃった懸念を払しょくできるように取り進めていきたい。

【椿原委員】電子図書館を利用するよう子どもに働きかけていくというのがこの計画であるが、「学校には学校図書館がある」ということと齟齬が生じる。学校図書館は未だに基準冊数を満たすことや学校図書館を活用することを求められ続けている。その中でさらに電子図書館の利用を推進することになり、マシンのパワーもとなると、小中学校はとくにその辺を整理しながら丁寧に進めないと混乱があるのではないかと。

【委員長】現場の声をよく聴きながら取り進めてほしい。

【椿原委員】学校図書館にいつも子どもがいっぱいいる学校は間違いなくいい学校。学校図書館を含め図書館はとても大事なものである、偏りながらいびつに動いていくよ

うにだけはならないようにしたいと学校管理職として考えているので、そこに無理のないようになっていけたらと思う。

【図書館長】承知しました。

【栗栖委員】質問だが、学校図書館は紙の書籍ということで、令和6年度からデジタル教科書が入ってくる。勉強するのはデジタル、本を借りるのはこれまでどおり紙の本で続けていくということでのよいのか。

【椿原委員】今後紙の本を揃えなくていいのでデジタル書籍に転換していきなさいとなればまた変わってくると思うが、現段階では紙の本を充実させる方向で学校図書館は存立している。デジタル教科書自体は、紙の本をそのまま取り込んだもので、タブレットでページめくりができたり拡大ができたり、紙の教科書とは全く違う使い方をしていけばいいので問題ない。ただことが図書館となると、やり方や方向性によっては電子図書館を推進していくという強い流れと、紙の本を充実させていくという流れはまだ続くと思うので、その間に齟齬が生まれることを懸念している。

【森委員】デジタル教科書になったら紙の教科書はなくなるのか。

【椿原委員】ダイジェスト版という薄い教科書になっていく流れである。タブレット1個あれば9教科分全て入っているので荷物が重いということが少し解決できるかもしれない。

【森委員】お子さんが楽しく本に親しんでいただければ紙でも電子でも媒体はかまわない。

【委員長】この件について他に何かありますか。

～ なし ～

● (3) その他

【委員長】その他で何かありますか。

【図書館長】道東地域2館目に厚岸町が11月から電子図書館をオープンすることによって情報共有である。また、我が町の電子図書館であるが、現在予算面の調整をしているところであり、着実に取り進めてはいるが導入年度については申し上げることが難しい状況となっている。

4 その他

【委員長】その他で皆さんから何かありませんか。

～ なし ～

5 閉会

午後4時50分閉会